

環境施策の令和3年度実施状況 (I-1-1 ~ V-3-4)

【基本方針】	環境施策	番号	内容	担当課	令和3年度の取組状況
I 地球温暖化・エネルギー対策の推進（小平市地域エネルギービジョン）	施策1 省エネルギーの推進		二酸化炭素排出量（エネルギー起源） 【成果指標】	環境政策課	現状値（2019）年度における二酸化炭素排出量は495千t-CO2であり、基準年度（2013）年度比20.5%削減となった。
		1	市民版環境配慮指針の普及拡大 【重点プロジェクト】	環境政策課	・環境家計簿をはじめとする市民版環境配慮指針の普及啓発として講座や出前授業を市民団体のエコダイラネットワークと協働で実施した。 ・令和3年度から2年間かけて内容のリニューアルを行っており、令和3年度は公募市民とともに、コーディネーターを招いた会議を4回開催し、現行の配慮指針についての確認や参加者同士によるワークショップ形式での意見だしを行った。
		2	環境家計簿アプリの活用 【数値目標】	環境政策課	環境家計簿の利用件数：2795件（R2：2314件） 参加者による令和3年度のCO2排出量（電気・ガス）は462,787kg-CO2で、前年度から40,198kg-CO2の増となった。 環境家計簿アプリの周知として、10月から12月の期間に「チャレンジ省エネ2021」のキャンペーンを実施したほか、こだいら環境デー2021特設ページを作成し、環境クイズを実施した。
		3	公共施設におけるLED化の推進 【数値目標】 【重点プロジェクト】	環境政策課 施設整備課 施設担当課	ESCO事業にて市民総合体育館・中央公園グラウンド照明をLED化したほか、二小学童クラブ専用棟1か所、体育館併設学童クラブ13か所における天井照明のLED化修繕、花小金井南中学校旧屋内運動場解体及び外構整備工事、小平市庁舎昇降機設備改修工事、小平市健康センター昇降機設備改修工事、小平市立障害者福祉センター（たいよう福祉センター）改修工事、あおぞら福祉センター事務室、公民館事務室（小川・津田・大沼・鈴木）、図書館、ふれあい下水道館等42施設において、既存の蛍光灯照明の一部を、LED照明器具に更新した。 【公共施設におけるLED照明導入率】 令和3（2021）年度 53.3% （目標値：2030年度までに80%以上）
		4	ZEV（電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車）の導入 【重点プロジェクト】	総務課 環境政策課 自動車保有課	庁用車の買い替えの際には、補助金等の情報を注視し、電気自動車の購入を総合的に判断し進めていく。 【電気自動車等導入率】 11.7%（12台/103台）
		5	断熱材など環境配慮型建材の使用	施設整備課 施設担当課	小平市立障害者福祉センター（たいよう福祉センター）改修工事において、断熱材、及びLow-E複層ガラスを使用した。
		6	省エネ機器等の導入及び適正な運用	施設整備課 施設担当課	小平市民文化会館空冷ヒートポンプチラー更新工事において、高効率型空調ポンプ、小平市立障害者福祉センター（たいよう福祉センター）改修工事において、高効率型空調機器を採用した。 ふれあい下水道館において全熱交換機（換気システム）の取替修繕を行った。
		7	エネルギー使用量の把握	環境政策課 施設担当課	四半期ごとに使用量の前年比等を公表し「見える化」をすることで、各施設で取り組む省エネ対策の結果を短いスパンで認識し、各施設のエネルギー使用量削減を図った。 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、冷暖房中も換気を行っているため、令和2年度に引き続き、ガス及び電気使用量については、増加傾向にある。
		8	省エネ関連情報（窓断熱、省エネ家電、補助金等）の発信【V-3】	環境政策課	国や東京都で実施している省エネ機器に対する補助金や東京都で実施している無料の事業者向け省エネ診断などの情報提供を市ホームページ及びパンフレット配布等により行ったほか、断熱窓の効果や選び方について普及啓発講座を開催した。

【基本方針】	環境施策	番号	内容	担当課	令和3年度の取組状況
I 地球温暖化・エネルギー対策の推進（小平市地域エネルギービジョン）	施策2 エネルギーの有効活用	1	公共施設における再生可能エネルギーの最大限の活用【重点プロジェクト】	環境政策課 施設整備課 施設担当課	公共施設への太陽光発電設備については、新学校給食センターへの令和4年度の設置に向けて、設計・建設工事を行った。 令和3年度末の設置施設は累計39施設、総発電出力477.8kWであり、また、令和3年度の総発電電力量は535,517kWhで、213,939kg-CO ₂ の二酸化炭素排出量の削減が図られた。
		2	創エネ・蓄エネ機器等設置費用の助成【数値目標】 【重点プロジェクト】	環境政策課	太陽光発電システムと燃料電池の補助のほか、令和3年度より蓄電池と断熱窓の補助制度を新たに設け助成を実施した。 【創エネ・蓄エネ機器等設置費用の助成件数】 令和3（2021）年度助成件数：太陽光発電システム46件、蓄電池30件、断熱窓5件、エネファーム94件 これまでの累計：2651件 （目標値：2030（令和12）年度までに4000件以上）
		3	市民共同発電所との連携	環境政策課	市内のNPO法人が主体となり、市民共同発電所の取組について、市ホームページやNPO法人が発行しているチラシ等で周知を行った。
		4	ごみ焼却熱の発電や熱供給への有効利用	資源循環課	ごみ焼却熱は「こもれびの足湯」や場内の暖房の熱源として利用している。
		5	下水熱利用の検討	下水道課	他自治体等の事例の調査、研究などを実施した。
		6	効率的なエネルギーの利用に関する情報（再エネ設備、補助金）の発信【V-3】	環境政策課	国や東京都で実施している省エネ機器に対する補助金や東京都で実施している無料の事業者向け省エネ診断、省エネ家電などの情報提供を市ホームページ及びパンフレット配布等により行った。

【基本方針】	環境施策	番号	内容	担当課	令和3年度の取組状況
I 地球温暖化・エネルギー対策の推進（小平市地域エネルギービジョン）	施策3 気候変動への適応	1	浸透性舗装の整備	道路課	小川町一丁目の補修工事において、歩道部に透水性舗装を実施した。（舗装面積30㎡）
		2	未整備地区における雨水管きょ整備【数値目標】	下水道課	小平市第二次下水道プランにおいて、浸水リスクを有する地区への整備として7地区の整備を予定している。令和3年度は雨水管きょ整備で対策をする7地区のうち4地区（大沼町1丁目、大沼町4丁目、花小金井5丁目（2地区））において工事を実施し、そのうち、1地区が対策済みとなった。
		3	雨水貯留・浸透施設の設置推進【数値目標】	水と緑と公園課 下水道課 施設担当課	<ul style="list-style-type: none"> 雨水流出抑制、地下水のかん養、湧水等自然環境の保全及び回復等に資するために、雨水浸透ます設置の工事費の助成を市で行っており、令和3年度は4基の雨水浸透ますの助成を行った。 小平市第二次下水道プランにおいて、浸水リスクを有する地区への整備として7地区の整備を予定している。 ふれあい下水道館において、雨水浸透施設の設置に関する展示を行い、関連するリーフレットを配架した。
		4	打ち水の普及【V-3】	環境政策課 施設担当課	親子環境教室として、昔のくらしやエネルギーの歴史と打ち水のイベントを小平ふるさと村で実施したほか、市内公共施設（中央公民館、上水南公民館、ふれあい下水道館、リサイクルセンター）においても打ち水を実施した。
		5	熱中症・蚊媒介感染症等への注意喚起【V-3】	健康推進課 環境政策課	<ul style="list-style-type: none"> 市ホームページ及び市公式ツイッターによる啓発 市報による啓発 リーフレットによる啓発 日中猛暑時の避難場所を設置（7月1日～9月10日） 熱中症予防のポスターの掲示 民生委員による高齢者宅への個別訪問 熱中症アラート発令時の注意喚起 気候変動適応策普及啓発講演会や打ち水イベント、出前授業の中での気候変動適応策としての注意喚起
		6	クールビズ・ウォームビズの推進	環境政策課 職員課	小平市節電対策基本方針を策定し、クールビズ・ウォームビズによる執務を実施したほか、市報・市ホームページ、エコダイラ・オフィス計画職員ハンドブック等で推進を呼びかけた。
		7	気候変動適応策の普及啓発【V-3】	環境政策課	気象予報士を招いて気候変動適応策普及啓発講演会を市民及び職員向けに開催したほか、打ち水イベント、出前授業を通して、気候変動の影響を回避・軽減するための適応策についての普及啓発を行った。

【基本方針】	環境施策	番号	内容	担当課	令和3年度の取組状況
II 循環型社会の形成	施策1 廃棄物の発生抑制（リデュース）		市民一人1日あたり ごみ総量の抑制 【成果指標】	資源循環課	市民一人1日当たりのごみ総量 令和3年度 674.2g(前年度比 △2.1%)
		1	東京都「プラスチック削減プログラム」に基づく施設の実現	資源循環課	国や東京都、他市の動向を注視し、取組の研究を行った。
		2	食品ロスの削減計画の検討	資源循環課	令和4年度に策定予定の「食品ロス削減推進計画」について、令和3年度では、家庭系廃棄物における食品ロスの実態を把握するための組成分析調査を1月に実施した。
		3	マイ箸、マイボトル、マイバック・ふろしき利用の促進	資源循環課 環境政策課	エコダイラ・オフィス計画の取組として、市職員が率先して3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取組を推進するよう周知・啓発を行った。
		4	ペーパーレス化の推進 【I-1】	資源循環課 総務課 環境政策課	職員向けの研修を行う等、エコダイラ・オフィス計画の取組として、両面印刷及び裏面再利用用紙の利用や会議資料の電子化により市職員が率先してペーパーレス化に努めるよう周知・啓発を行った。
		5	小売り販売や梱包材削減の推進	資源循環課	店頭回収を実施している店舗に対し、店頭回収の拡充を依頼するとともに、簡易包装や食品ロス削減にも取り組んでいただくよう依頼した。
		6	燃やすごみに含まれる雑がみの削減の推進 【数値目標】	資源循環課	「資源とごみの出し方」及び、市ホームページ等で排出方法の周知を行った。また、リサイクルセンター内での紙袋の回収と無料配布、YouTube及び「資源とごみの出し方」、市ホームページでの雑紙回収袋の作成方法の周知等を行うことで市民への啓発を行った。 【燃やすごみに含まれる可燃性資源の割合】 令和3年度：11.1%
		7	事業系一般廃棄物手数料の適正化	資源循環課	東大和市及び武蔵村山市と連携しながら、令和4年度中の条例改正を視野に入れて検討を重ねた。

【基本方針】	環境施策	番号	内容	担当課	令和3年度の取組状況
II 循環型社会の形成	施策2 資源の循環利用（リユース・リサイクル）	1	ごみ分別アプリの活用【V-3】	資源循環課	ごみ分別アプリにてごみの分別方法の詳細を掲載したほか、収集カレンダーやイベントを掲載し、アプリの活用方法の多岐化に努めた。 【アプリダウンロード数】 8,962件
		2	食物資源循環事業の推進	資源循環課	家庭から出る食物資源（生ごみ）を分別収集し、再資源化業者に引き渡し、堆肥化を行っている。 【食物資源引き渡し量】 令和3年度：91t
		3	生ごみ処理機で生成される食物資源一次処理物の資源化の推進	資源循環課 学務課 保育課	・小学校給食から出る生ごみを全小学校に設置した乾燥型生ごみ処理機で処理して生成する一次処理物を学校農園等で利用し、資源の有効利用を図った。 ・市庁舎、市立小学校及び市立保育園で発生する一次処理物、並びに市民が公共施設に持参した一次処理物を再資源化業者に引き渡し堆肥化を行った。 【一次処理物引き渡し量】 令和3年度：23t
		4	食物資源（生ごみ）処理機購入費用の助成	資源循環課	食物資源処理機購入費補助金を交付し、ごみの減量及び生ごみの有効利用を図った。 【補助金交付実績】 令和3年度：160件、2,549,800円
		5	食物資源たい肥化講習会・段ボールコンポスト講習会等の実施	資源循環課	ごみ減量に関する様々な講習会を例年実施しているが、令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、実施を見送った。
		6	リサイクルの推進（図書、小型家電、陶磁器食器、剪定枝等）	資源循環課 図書館	・公共施設において小型家電・陶磁器等の回収を行った。 ・情報が古くなった図書など不要になった図書館資料を可能な限り廃棄処分せず、市民へ無料で配布するブックリサイクル事業を例年実施。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止していたが、令和4年1月25日から再開し、13,457冊を提供した。
		7	シェアリングの利用促進（家具、子育て用品、陶磁器食器等）	資源循環課	再利用を促進するため、市内4か所にある生活用品交換コーナーにおいて、不用品情報を掲示するとともに、市ホームページでも掲載した。また、リプレこだいらで粗大ごみとして出された家具類で再生可能なものを補修し、展示販売した。 【不用品情報登録件数】 令和3年度：ゆずってください16件（うち成立2件）、ゆずります81件（うち成立26件）
		8	紙オムツの資源化の検討	資源循環課	資源化や収集運搬にかかる頻度・費用等のさまざまな課題もあるため、環境省や東京都による資源化に対する支援の活用を図るなど、検討を続けていく。
II 循環型社会の形成	施策3 適正処理の維持・向上	1	家庭廃棄物の適正排出指導	資源循環課	市指定の分別がされていない等の不適正な排出に対しては、警告シールの貼付や収集の留保のほか直接指導し、徹底を図るとともに、「資源とごみの出し方」「分別をよりわかりやすく」等パンフレットの窓口配布、ごみ分別アプリの配信によって、適正な排出方法の周知を図った。
		2	事業系廃棄物の適正排出指導	資源循環課	搬入先である小平・村山・大和衛生組合にて許可業者に対し抜き打ちの展開検査を実施し、適正な排出及び指導を行った。
		3	小平・村山・大和衛生組合『（仮称）新ごみ焼却施設』の整備	資源循環課	令和7年10月の稼働に向けて、現処理施設の解体、新施設の建設を進めている。

【基本方針】	環境施策	番号	内容	担当課	令和3年度の取組状況	
Ⅲ 水と緑と生きものとの共生（小平市生物多様性ビジョン）	施策1 生物多様性の理解と配慮行動	みどり率 【成果指標】			水と緑と公園課	29.6%（平成29（2017）年） みどり率の測定は、毎年測定はしていない。 中間見直しや策定時に測定する予定である。
		1	生物多様性に関する情報発信【V-3】	水と緑と公園課 環境政策課 施設担当課	<ul style="list-style-type: none"> 国際生物多様性の日に合わせて、市役所1階にて身近なビオトープ関連の展示や生物多様性の普及啓発に伴う展示を行った。 生きもの調査で得た生き物の生息状況を報告書としてまとめ、市ホームページで公表した。 ふれあい下水道館において、身近なビオトープ関連の展示や生物多様性の普及啓発に伴う展示を行い、関連するリーフレットを配架した。 	
		2	自然観察会・講演会等のイベントの開催【V-3】 【重点プロジェクト】	水と緑と公園課 環境政策課	<ul style="list-style-type: none"> 自然観察会「レンジャーと行く！小平の生きもの調査隊！シーズン2」を開催し、生き物の生息状況を報告書としてまとめ、市ホームページで公表した。 環境学習講座として、「落ち葉の下のミクロの世界をのぞいてみよう」を多摩六都科学館と共催で開催した。 小平第三小学校の児童を対象に、ビオトープについての出前授業を実施した。 こだいら環境デーにおいて、身近な外来種の生態等についての講座を実施した。 【参加実績】 令和3年度：参加人数172人	
		3	生きもの調査の実施 【重点プロジェクト】	水と緑と公園課	自然観察会「レンジャーと行く！小平の生きもの調査隊！シーズン2」を開催し、生き物の生息状況を報告書としてまとめ、市内の小中学校や市民へ配布するとともに、市ホームページで公表した。	
		4	生きものマップによる散策の推進	水と緑と公園課 環境政策課 施設担当課	<ul style="list-style-type: none"> 国際生物多様性の日に合わせて、市役所1階にて身近なビオトープ関連の展示や生物多様性の普及啓発に伴う展示を行う中で、過去に作成した「こだいら生き物マップ」のリーフレットを配架した。 ふれあい下水道館において、身近なビオトープ関連の展示や生物多様性の普及啓発に伴う展示を行い、関連するリーフレットを配架した。 	
		5	生物多様性に配慮した行動変容の普及啓発【V-3】	水と緑と公園課 環境政策課 施設担当課	<ul style="list-style-type: none"> 自然観察会や環境学習講座、ビオトープについての出前授業のを通して生物多様性への理解を深めるとともに、生物多様性に配慮した行動に繋げている。 ふれあい下水道館において、身近なビオトープ関連の展示や生物多様性の普及啓発に伴う展示を行い、関連するリーフレットを配架した。 	

【基本方針】	環境施策	番号	内容	担当課	令和3年度の取組状況
III 水と緑と生きものとの共生（小平市生物多様性ビジョン）	施策2 みどりと生きものの保全・創出	1	用水路の適正管理	水と緑と公園課	流水の確保や美観の維持管理の目的から、護岸修繕、浚渫、植生管理、草刈、スクリーン清掃、ゴミ回収作業等を行った。
		2	小平グリーンロードの緑の保全 【重点プロジェクト】	水と緑と公園課	緑道の清掃と除草、植生管理を行った。また、今後の玉川上水のナラ枯れの対策に向けて、東京都と情報交換を行った。
		3	樹林地等の緑地の保全	水と緑と公園課	保存樹林、保存竹林の新たな指定は行わなかったが、既に指定している保存樹林、保存竹林では植生管理を順次実施し、良好な生育環境を整えている。 【指定面積状況】 令和3年度：保存樹林15件、36,431.43㎡ 保存竹林8件、3,906.43㎡ 保存生垣53件、4,403.1㎡
		4	民有地の緑化の推進	水と緑と公園課	新たに生垣を設置する際に、費用の一部助成を行った。 【生垣造成補助】 令和3年度：5件、55.3m
		5	公共施設の緑化の推進 【重点プロジェクト】	施設整備課 施設担当課	福祉会館：つつじ（苗）、ブルーベリー（苗）の植栽 有料自転車駐車場：花壇の設置16か所 あおぞら福祉センター：6か所27.10㎡の緑の創出 ふれあい下水道館敷地内：植栽帯及びビオトープの維持管理 保育園9園：花壇に花植え リサイクルセンター：広場内に植栽を整備 緑のカーテン：60施設にて実施
		6	道路の緑化の推進	道路課	小平駅南口ロータリー花壇に花苗を植栽した。（年2回） また、東京都より苗木供給を受け、六小北通り及びB・S中央通りにツツジ150本の補植を行った。
		7	公園の整備 【数値目標】	水と緑と公園課	一人あたりの公園面積 2.78㎡ ・鷹の台公園について、市民ヒアリングやセミナーを実施し、公園のあり方に関する調査・検討を進めた。 ・武蔵公園について、オープンハウス等を行いながら整備に向けた検討を進めた。 ・鎌倉公園について、公園内の遊具に関する意見収集及びワークショップを実施し、令和3(2021)年8月20日に小平都市計画公園事業第1号鎌倉公園として、事業認可を取得した。また、農を身近に感じる空間としての農業公園の整備に向けて取組むために、「鎌倉公園農にふれあうエリア整備プラン」を策定した。
		8	農地の保全 【数値目標】	産業振興課	農業委員会と協力し、日常の農地パトロールや農地管理推進月間の取組により、管理が不十分な農地の改善に向けた指導・助言を行った。 【農地面積】 令和3年度：173ha
		9	ビオトープづくりの推進	水と緑と公園課 施設担当課	・市立小学校、中学校へ「身近なビオトープづくり～小鳥の観察モニター編～」のリーフレットを配付し、事業の周知を行った。 ・ふれあい下水道館において、身近なビオトープづくりの展示を行い、関連するリーフレットを配架した。
		10	緑地などの在来種（希少種）の保全や外来種対策	水と緑と公園課 施設担当課	・外来種（植物）の駆除方法等について、市ホームページを通じて普及啓発を行った。 ・ふれあい下水道館において、外来種（植物）の駆除方法等に関する展示を行い、関連するリーフレットを配架した。

【基本方針】	環境施策	番号	内容	担当課	令和3年度の取組状況
III 水と緑と生きものとの共生（小平市生物多様性ビジョン）	施策3 みどりと生きものの活用	1	用水路の親水整備	水と緑と公園課	用水路管理方針の策定に向けて、沼さらい協力自治体等と意見交換会を実施した。
		2	小平グリーンロードのみどりの活用【重点プロジェクト】	水と緑と公園課 産業振興課	<ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人こだいら観光まちづくり協会が、小平グリーンロードを歩くまち巡りツアーを実施した。 一般社団法人こだいら観光まちづくり協会が、小平駅からあじさい公園までの桜のライトアップを行った。
		3	オープンガーデンの推進	産業振興課	自然とうるおいのある街づくりを目指し、オープンガーデンを市内27か所で実施した。また、オープンガーデンマップの配布も行った。
		4	緑のカーテンの推進【I-1、I-3】 【数値目標】 【重点プロジェクト】	環境政策課 施設担当課	<ul style="list-style-type: none"> 緑のカーテンの普及啓発のため、緑のカーテン講習会の動画を作成し、苗配布を実施したほか、環境イベントにおいて緑のカーテン写真の展示を行った。 ゴーヤの種とアサガオの種を市内の公共施設に配布し、60施設で緑のカーテンを設置し、夏の省エネに取り組んだ。
		5	小平産果物のブランド化	産業振興課	小平農業シンボルマーク「畑からまっしぐら」や、小平産ブルーベリーのシンボルマーク「ぶるべー」を活用した販売資材、移動式直売所等の購入経費の一部を補助し、ブランド化を推進した。
		6	地産地消の推進（地場産農産物の販売、学校給食等への供給等【I-1】 【数値目標】	産業振興課 学務課	<p>小学校給食地場農産物利用促進事業の実施により、各公立小学校の地場産農産物の購入実績に応じて補助金を交付し、利用促進を図った。</p> <p>【学校給食における地場産農産物の納入率】 令和3年度：小学校33.0%、中学校 6.2%（給食センター建て替え工事中の実績）</p> <p>また、東京むさし農業協同組合が実施する地場産農産物の地産地消を推進するための活動を支援した。</p>
		7	学童農園・体験農園の充実	産業振興課	学童農園事業を公立小学校全19校で実施したほか、市内の農業体験農園5園のPRを推進した。

【基本方針】	環境施策	番号	内容	担当課	令和3年度の実施状況
IV 快適な生活環境の確保			小平市の環境に対する満足度 【成果指標】	環境政策課	第20回小平市政に関する世論調査（2021年5月実施）においては、小平市の環境に対する満足度は68.5%であった。
	施策1 大気・水・土壌環境等の監視と保全	1	大気・水質・土壌等の環境調査 【数値目標】	環境政策課	【二酸化窒素濃度の環境基準達成地点の割合】 目標値：100% 目標年度：令和12年度 令和3年度：100%（45 か所で年2回、延べ90 か所中90 か所で達成） 達成率：100%
		2	化学物質の適正管理	環境政策課	環境確保条例に基づき、適正に管理すべき化学物質（59種類）を年間100キログラム以上取り扱う工場又は指定作業所に対し、使用量等の報告を徴収した。また、適正化学物質取扱者で従業員が21人以上の事業者に対し、化学物質管理方法の提出を求めた。 【対象事業者】 令和3年度：19件
		3	土壌汚染対策の指導・助言	環境政策課	工場又は指定作業場の廃止に伴い、有害物質を取り扱ったことのある事業者に対し、環境確保条例に基づく土壌汚染対策の指導・助言を行った。
		4	アスベスト対策の強化	環境政策課	大気汚染防止法の改正に伴い、令和4年4月から開始される石綿事前調査報告について、解体業者・発注者等への周知啓発を行った。
		5	エコドライブの推進	環境政策課	自動車使用による燃料使用量や温室効果ガスの削減を促進するため、ノーカーデー及びエコドライブシミュレータ体験会を実施した。

【基本方針】	環境施策	番号	内容	担当課	令和3年度の取組状況
IV 快適な生活環境の確保	施策2 身近な住環境問題への対応	1	近隣の騒音・振動・悪臭等の相談対応	環境政策課	近年、工場や事業所に比べ、一般家庭等を発生源とする苦情が増加傾向にある。個別事情の詳細な聞き取りや現場での状況確認など、対応に当たった。 【生活公害苦情件数】 令和3年度：ばい煙32、粉じん2、有毒ガス0、悪臭7、汚水0、騒音35、振動15、合計91
		2	衛生害虫等の相談対応	環境政策課	令和3年度より、市による私有地に対するハチの巣駆除を行っていない。 【衛生害虫苦情件数】 令和3年度：衛生害虫0件、ハチ129件、樹木害虫10件、あき地等22件、動物等59件、その他33件、合計253件
		3	アライグマ・ハクビシン対策【Ⅲ-2】	環境政策課	東京都が策定した「東京都アライグマ・ハクビシン防除実施計画」に基づく防除に参加し、相談者の協力が得られる場合には、捕獲を実施している。 【アライグマ・ハクビシン捕獲実績】 令和3年度 相談件数32件、 捕獲頭数 アライグマ5頭、ハクビシン8頭
		4	蓄犬登録・狂犬病予防注射接種の推進	環境政策課	狂犬病予防法に基づき、事務を行っている。畜犬登録は、生後91日以上の子犬に生涯で1回の登録が義務づけられ、狂犬病予防注射は、年1回の接種が義務づけられています。 【畜犬登録数】令和3年度末 8,070頭 【狂犬病予防注射済票交付数】 令和3年度 5,819件
		5	地域猫活動の推進【数値目標】	環境政策課	市内に生息する飼い主のいない猫に受けさせる不妊・去勢手術にかかる費用の一部を助成している。 【飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費補助事業】 令和3年度 手術費助成 10件 サクラねこチケット 352件
		6	空地・空き家の適正管理の指導	環境政策課 地域安全課	・空き家については、住民から情報提供があった際の調査及び定期的な調査を実施し、管理不全な状態となっている場合、「小平市空き家等の適正な管理に関する条例」に基づき、所有者等に対し、適正な管理を行うよう助言、指導を行った。 ・「小平市あき地の管理の適正化に関する条例」に基づき、年3回調査を実施し、生活環境を著しく損なうような雑草の繁茂状態があった場合、登記上の所有者に対し、勧告書を送付した。 【あき地の勧告実績】 令和3年度：13件、1,676㎡

【基本方針】	環境施策	番号	内容	担当課	令和3年度の取組状況
IV 快適な生活環境の確保	施策3 まちの環境美化の向上	1	環境マナーアップキャンペーンの実施	環境政策課 健康推進課	喫煙マナーアップキャンペーンを実施し、啓発品の配布、地域清掃に取り組んだ。 【花小金井駅・小平駅・一橋学園駅・新小平駅・鷹の台駅・小川駅実施状況】 令和3年度：12回、参加人数157人、啓発品数3,030個
		2	イエローチョーク作戦の普及【V-2、V-3】 【数値目標】	環境政策課	放置された犬のフンに黄色のチョークでマーキングすることで警告を促す取組として、イエローチョーク作戦を実施した。 【イエローチョーク配布実績】 目標値：300本 令和3年度：77件、151本
		3	環境ポスターコンクールの実施	環境政策課	市内全小・中学校を対象に、環境に関するポスター作品を募集した。応募作品より選出した優秀作品のうち金賞作品を、ポスターや啓発用品等に活用するとともに、中央公民館ギャラリーに作品を展示し、環境美化普及啓発に役立てた。 【ポスターコンクール応募状況】 令和3年度：5校、198作品
		4	放置自転車の撤去	交通対策課	東大和市駅を含む7駅に放置自転車等駅頭指導整理員を配置し、自転車等の利用者への適切な自転車駐車場利用の指導と放置自転車等に対する警告を行った。 【放置自転車撤去実績】 令和3年度：566回、1,099台
		5	美化啓発等看板配布	環境政策課	空き缶やタバコなどのポイ捨て禁止や犬のフンの持ち帰りを啓発するために、啓発看板を配布した。 【犬のフンの持ち帰り啓発看板配布実績】 令和3年度：135件、323枚 【ポイ捨て禁止看板配布実績】 令和3年度：59件、148枚
		6	環境美化活動の推進 【数値目標】	環境政策課	年間を通じた、自治会、高齢者クラブ、青少年対策地区委員会、企業等の清掃活動に対し、ごみ袋等を交付し、自主的な清掃活動を支援した。 【清掃活動参加状況】 目標値：200団体または12,000人 令和3年度：130団体、4,938人

【基本方針】	環境施策	番号	内容	担当課	令和3年度の実施状況
IV 快適な生活環境の確保	施策4 環境にやさしい交通手段への転換	1	快適歩道の整備【I-1】	道路課	福祉のまちづくりに向け、歩道の段差改良工事などの整備を行っている。
		2	自転車通行空間の整備【I-1】	交通対策課	自転車ナビマークの整備については、交通管理者と連携しながら検討を進めたが整備には至らなかった。
		3	自転車駐車場の整備【I-1】	交通対策課	有料自転車駐車場では指定管理者が適正な管理運営を行った。 令和3年度末の自転車駐車場の箇所数は、24か所、収容台数は16,015台となった。
		4	シェアサイクルの活用【I-1】	産業振興課	市内の公共施設17箇所にサイクルポートを設置している。
		5	自転車利用のルールとマナーの啓発【V-3】	交通対策課	自転車の運転マナー等の向上のため ・新小学1年生へ「自転車ルールブック」の配布 ・中学生以上から大人を対象に新たな自転車ルールブックを作成し、市ホームページ上で公開し、交通安全啓発パネル展示にて配布 ・中学生に対し、スケアード・ストレイト方式による自転車安全教室（市立中学校5校）を実施 ・広報媒体活用による広報活動を実施 ・小学校周辺における交通安全巡回広報を実施 ・自転車シミュレータ体験コーナーをふれあい下水道館で実施 ・啓発チラシ等を街頭や市役所にて配布 ・放置自転車等駅頭指導整理員を配置し、自転車利用者への指導・呼びかけの実施 ・駅前放置自転車クリーンキャンペーンにて自転車駐車場及び駅周辺にポスター掲示やのぼり旗を掲示
		6	地域公共交通の利用促進【I-1】【数値目標】	公共交通課	自家用車より環境負荷の小さい公共交通の利用促進を図るため、「小平市公共交通マップ」を作成した。また、地域住民や事業者で組織する「にじバス協議会」や「コミュニティタクシーを考える会」を通じて、地域商店会等と連携・協力し、より一層の利用者増に努めた。 【コミュニティバス利用状況】 令和3年度：181,576人、497.5人/日、13.5人/便 【コミュニティタクシー利用状況】 令和3年度： 大沼ルート 19,898人、82.2人/日、4.1人/便 栄町ルート 17,781人、73.5人/日、3.9人/便 鈴木町ルート 15,577人、64.4人/日、3.4人/便 ※年間乗車人数、1日平均乗車人数、1便平均乗車人数

【基本方針】	環境施策	番号	内容	担当課	令和3年度の取組状況
V 学びと協働の推進	施策1 環境教育・学習の充実	環境学習・イベント等への参加人数 【成果指標】		環境部各課	環境学習講座やシンポジウム、セミナー、出前授業等を開催したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止による大型イベントの中止のともない、目標達成には至らなかった。 【環境学習・イベント等の参加人数】 令和3年度：6,138人（目標値：19,000人）
		1	学校での環境教育・学習の充実 【数値目標】 【重点プロジェクト】	指導課 環境部各課	・市立小・中学校全校では、学習指導要領に基づき、社会科、理科、総合的な学習の時間等の授業において、児童・生徒が環境への理解を深めるよう指導の充実を図った。また、各校の実態に応じてSDGsの理解の推進、3Rの取組や節電などに関する学習を行った。 ・環境問題やゴミについて考える環境出前授業やビオトープについての出前授業を開催し、環境教育・学習の充実を図った。10回（833名） ・ふれあい下水道館において小学校、中学校等の団体見学の受入れを行った。15団体（計778人）
		2	多様な環境講座等の開催 【数値目標】 【重点プロジェクト】	環境部各課	・市民、事業者に対して、幅広く環境問題について学んでもらうため、環境に配慮した行動に踏み出すきっかけづくりを目指し、講座等を開催した。全24回（計689名） ・ふれあい下水道館において学習講座及び夏休み特別学習講座を開催した。全30回（計277人）
		3	施設見学・体験会の開催 (ふれあい下水道館、リサイクルセンター、小平・村山・大和衛生組合等)	環境部各課	・ふれあい下水道館では、団体見学の案内をホームページ等に掲載し、各種団体の見学の受入れを実施した。60団体（計1415人） ・リサイクルセンターでは、ビンやカンなどの資源物の中間処理の様子が見学できる見学者ルートや環境学習のための展示・体験設備、多目的ルーム等が設置されており、多くの団体や個人の方の見学等に利用された。29回（計1300名）
		4	環境活動への参加の推進	環境部各課	環境学習講座やセミナー、ワークショップ等の多彩な環境イベントを開催し、地域での清掃活動等への参加を呼びかけることで、環境活動への参加を促した。
V 学びと協働の推進	施策2 多様な主体との連携・協働	1	公園・道路等ボランティア制度の普及 【Ⅲ-2、Ⅳ-3】	水と緑と公園課 道路課	公園・道路ボランティアにより公園、歩道、駅前広場、用水等で花壇の管理や樹木の剪定などの緑化活動や清掃活動を行った。 【ボランティア登録数】 令和3年度：公園 27団体、個人114人 道路 48団体、個人367人
		2	公園等アダプト制度の普及 【Ⅲ-2、Ⅳ-3】 【数値目標】	水と緑と公園課	平成28年度より公園のアダプト制度を開始し、草刈りや清掃、施設の修繕など、10公園で維持管理を行った。 【アダプト制度参加団体】 令和3年度：10公園 12団体
		3	廃棄物減量等推進員制度の推進【Ⅱ-1、Ⅱ-2、Ⅱ-3】	資源循環課	・各推進員が自宅周辺地域の排出指導及び不法投棄監視活動を行った。 ・推進員有志によるクリーンメイト広報紙「クリーンこいだいら」第1号を12月に発行し、各公共施設にて配布した。 ・リサイクルきゃらばんにも推進員が参加し、ごみの分別PR等を行った。
		4	環境配慮事業者連絡会の充実 【数値目標】	環境政策課	環境配慮事業者連絡会を開催し、国、都、市の省エネ、創エネ等の補助金の情報提供および企業・民間団体の脱炭素経営への取組に関するDVD上映を行った。 【環境配慮事業者連絡会参加事業者数】 17事業者 (目標値：2030（令和12）年度までに30事業者)
		5	市民団体等との連携	環境部各課	・エコダイナネットワークと連携し、出前授業やこいだいら環境デー、環境フォーラム講演会での展示を通して、市民版環境配慮指針の普及啓発に努めた。 ・ふれあい下水道館ではデザインマンホール蓋の写真撮影やグッズ収集をしている方と連携し、特別展示を実施した。
		6	他自治体との広域連携	環境部各課	・東京都をはじめ全市が加入している東京都市環境・公害事務連絡協議会を中心とした、課題の検討、情報共有などを行い、連携、協力に努めた。 ・オール東京62市区町村共同事業である「みどり東京温暖化防止プロジェクト」の研修会や分科会に積極的に参加した。 ・東京都産業労働局の開催するデザインマンホールデジタルラリーのイベントに協力することで、ふれあい下水道館やデザインマンホールについて周知を行った。

【基本方針】	環境施策	番号	内容	担当課	令和3年度の実施状況
V 学びと協働の推進	施策3 普及啓発による環境意識の向上	1	市報・ホームページでの環境情報の充実 【重点プロジェクト】	環境部各課	<ul style="list-style-type: none"> 市報・ホームページにて環境学習講座や各種イベントの開催について掲載した。 環境基本計画の普及啓発イベント「環境シンポジウム」、緑のカーテン講習会、小平市まちの環境美化条例の説明、雑紙回収袋作成動画等、積極的に動画を配信した。
		2	SNS等を駆使した環境情報の発信 【重点プロジェクト】	環境部各課	<ul style="list-style-type: none"> 環境学習講座等のイベントや季節に応じた環境の取組、身近なビオトープや外来種（植物）等の情報について、メルマガ、環境家計簿からのお知らせ、Twitter、LINE等で発信することで、環境情報の充実を図った。 【令和3年度活用状況】 メルマガ18回、環境家計簿18回、Twitter16回、LINE6回
		3	環境イベント等での普及啓発	環境部各課	<ul style="list-style-type: none"> シンポジウム助成事業を活用し、小平市第三次環境基本計画画を広く市民に周知するキックオフイベントとして環境シンポジウムを開催した。 こだいら環境デーにおいて、環境クイズや下水道課の体験プログラムを実施した。 ふれあい下水道館において、環境基本計画に関する展示を行い、関連するリーフレットを配架した。
		4	環境キャラクターを活用した普及啓発（「ソラミ」「ヘラスンジャー」等）	環境部各課	<ul style="list-style-type: none"> 市長によるゼロカーボンシティ宣言や出前授業において小平市太陽光発電イメージキャラクターのソラミを登場させる等、環境キャラクターを積極的に活用した広報を行った。 ふれあい下水道館の微生物キャラクター「ヒルガタワムちゃん」を活用したマンホールフォトラリーを開催した。

【令和3年度実施状況に対する環境審議会の意見等】

令和4年8月23日（火）に開催された小平市環境審議会において、次のようなご意見等をいただきました。

《ご意見等》

- 二酸化炭素排出量の現状値が2019年度で495千t-CO2となっているが、ちょうどコロナの前の年が現状値となっているので、家庭部門の占める割合が高い小平市においては、今後家庭部門によるCO2排出量の増加にともない、場合によっては、今後2、3年は減少しにくい傾向になってくると思われるので注視していく必要がある。
- エコダイラ・オフィス計画について、施設におけるCO2削減量についてはコロナの影響を受けている状況が施設によって異なると推察される。今後稼働率が戻るとCO2排出量も戻ってくると想定されるので、経年で施設ごとに様子を見る必要があり、無駄のない運営をしていないかチェックしていくことが大事である。
- 窓を全開にして冷暖房をしている状況は、無駄に換気をしていることとなるので、空調エネルギーがだいぶ増えている建物については、CO2センサー等を活用しながら必要最小限の換気でできているか、過剰な換気を行っていないかチェックしていく必要がある。